

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日			記入者	
内線	3815				
部 名	消防本部	課 名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防庁舎維持管理				
予算上の事務事業名	消防庁舎維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23130	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防法、消防組織法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
災害出場等に対応するため、消防活動の拠点となる消防署、分署の施設を適正に維持管理をする。 環境面においては、省エネルギー等環境に配慮した中で、光熱水費の経費の削減を図ることを目的とする。				市民全般	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
環境配慮行動として、施設内の部分消灯による電気使用量等の抑制をして、省エネルギー行動を実行する。					
総事業費	116,904千円				
需用費	70,883千円	燃料費・光熱水費			
役務費	1,889千円	手数料			
委託料	44,132千円	施設等管理運営委託料			
6 関連・類似事業や他市の状況	他市も実施している。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	122,587	10,779	108,695	110,907	0
一般財源	122,587	10,779	108,695	110,907	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,368	1,316	1,324	1,324	0
事業コスト合計(a)	123,955	12,095	110,019	112,231	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	消防署、分署の管理			対象名称(単位)	維持管理
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	15	15	15	15	0
対象数	15	15	15	15	0
単位あたり経費(円)	1,000	1,000	1,000	1,000	
前年度比		1.00	1.00	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	消防署、分署の管理		指標式と指標の説明	消防署、分署を適正に管理し、災害に対応する	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	15.0	15.0	15.0		
目標	15.0	15.0	15.0	15.0	0.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	火災出場		指標式と指標の説明	発生した火災の出場件数を計上した	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	272.0	253.0	234.0		
目標	272.0	253.0	234.0	0.0	0.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防施設の庁舎管理業務を行なうことにより、複雑多様化する各種災害に適切に対応し、市民生活の安全確保を図ることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
経過年数が多く、設備等にも老朽化が進んでいる施設もある中、保守委託管理をすることにより、熱効率の低下等の不具合設備の早期発見や光熱水費経費の削減を図れるなど、さらなる成果向上の余地がある。			本事業に関しては、24時間災害発生時において瞬時に対応するために、消防活動の拠点施設として、庁舎の維持管理は欠かせないものである。 また、台風などの特異気象時には職員が参集することなどから、省エネルギー対策等については厳しい部分もある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			